



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日／毎週火曜日 12：30 例会場／豊川商工会議所 会長／山城康司 幹事／滝下 勲 会報委員長／土井昌司
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 Tel.0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第42回 通算1250回 平成24年5月22日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	5/8 修正出席率
		58名	35名	64.8%	85.7%

ゲスト：(なし) ビジター：メイクアップ受付16名

★会長あいさつ

山城康司会長



こんにちは。先週は春の行楽に行きまして。2日間、お天気にも恵まれ、どこからでも、ずっと富士

山を見ることが出来ました。初日に、日蓮宗の本山の身延山久遠寺に参拝しました。本堂をお参りしたときに、本山の方のご挨拶がありました。感激をしました。宿泊をした石和温泉の旅館は大変素晴らしかったです。縦山委員長、細井副委員長はじめ親睦委員会の皆さん、ありがとうございました。

★幹事報告

滝下 勲幹事

例会臨時変更のお知らせ
次回例会のお知らせ

★委員会報告

永田恵照会員より
スリランカのお土産について

★新入会員入会式

(有)ロードサービス豊橋代表取締役 大場篤氏

宗教法人大社神社宮司 鈴木忍氏

◎推薦者の紹介

山城康司会員

大場篤さんを紹介いたします。(有)ロードサービス豊橋の代表取締役であり、私と一緒に保険の仕事もしている仲間です。15年ぐらいのお付き合いで、今回、ご入会頂きました。どうぞ、よろしくお祈りいたします。

◎推薦者の紹介

度会尚志会員

鈴木忍さんを紹介いたします。国府町の大社神社の宮司さんです。昨年の12月に穂の国青年会議所を卒業されたばかりです。卒業され、迷わずロータリークラブを選択して、ご入会頂きました。今後ともよろしくお祈りいたします。

◎バッジの贈呈

会長からロータリーバッジが贈られました。

◎歓迎のことば

高桑R情報委員長

ご入会おめでとうございます。二人とも青年会議所の出身ですので、メンバーの中に知っている人が大勢いると思いますが、例会に積極的に出席をして、早くクラブの皆さんと仲良くなって頂きたいと思っております。ゴルフの同好会や、親睦の行事などいろいろイベントありますので、ご本人だけでなく、家族の方も出来るだけ出席をして頂きたいと思っております。愛知県に約4,900名の会員がいます。日本全体で89,000名のロータリアンがいます。みんなと仲良く、良いロータリアンになりますように頑張ってください。

◎新入会員のあいさつ

大場 篤会員

初めまして、大場です。よろしくお祈りいたします。JCの時にロータリークラブというのは、歴代理事長がお



られて敷居が高く感じておりました。山城さんにお声を掛けて頂きまして、今回入会させて頂きましてありがとうございます。今後とも

よろしくお願ひします。

◎新入会員のあいさつ 鈴木 忍会員

初めまして、鈴木です。よろしくお願ひします。昨年の12月にJCを卒業しました。度会さんとは、豊川高校の駅伝のご縁がありまして、今回のお話を頂きました。皆様方のお仲間に入れて頂きまして、これから頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



★卓話

野中泰志会員

こんにちは。今日は色々な話をします。

私も自民党に25年おりました。決定の遅さ、物事がなかなか決まらない、どこかで誰かが決めたことを上から押し付けられる、それが良かった時代もありましたが、今の世の中、価値観も変わりました。そういうことができない世の中になってきた。戦後、威力を発揮した政治の進め方、全国一律の発展を期すということは、本当に見事に成功したのでありますが、私たちの将来、10年先を考えたときに、これは、もう駄目だ、今変えないと10年先が危ない、という思いにかられまして、何とか一矢報いたいという想いで、日本一愛知の会に、私も大村知事と一緒に行動を共にすることにしました。

その中で、東三河県庁の開設が1年で実現できました。大村さんと初めて会ったときに、応援してくれますかという話があり、東三河の人は、いつも西高東低だと、そういう想いをみんな持っている。特に行政機関、豊川市の職員もそうでした。東三河事務所に行っても、物事が決まらず、時間を置いて、県から話が来ると「やはり駄目でした」ということになります。それならば東三河事務所なんて、

いらぬのではないかと沢山の人が思いました。業者の皆さんも許認可をもらうために、そこに行けば色々な指導を受けます。指導を受けつつも最終的に「やはり駄目でした」ということになります。そういうことを無くしてもらいたい。行政の姿勢を正してほしい、そのような案を持って来れるなら話をしましょうと言って別れました。平成22年11月に、大村さんから「東三河県庁はどうですか」という話を持って来られました。これは、東三河の人間と話をして持って来られた提案でした。1期4年で出来るんですね、と確認したら「1年でやる」と言われました。「スピードが大事、長引いたら潰れるから1年でやる」と言われました。それならば応援しますと返事をし、そこから始まりました。

まず一つずつ進むことが大事だと思います。自民党も民主党も、頼りにならなかった、やってくれなかったという声が多く出ました。それが政治に対する閉塞感や絶望感だと思います。とにかく、一つでも成果を積み重ねていこうというのが、共に語り合ったことです。ここから先は、約束通り、民間の人を巻き込んで、企画会議はオープンで行う。その中で、進めていく。日本で初めての取り組みですので、よその県の関係者の視察は目白押しです。そういう意味では、一つ行政に穴を開けたと思っています。明治から続いてきた中央集権。制度疲労が来ているから、現在の日本が変になってきているのです。東三河県庁が出来たということは、県の中央集権をバラしたいという我々の想い。どうして東三河だけなんだという声も聞きます。西三河にも尾張にも作れば、権限の分散が進むのです。そうすると県庁はいらなくなります。県庁が残るとしたら県の最低限の機能だけ、例えば全体の調整機能、金融の関係、海外に出ている中小企業の全面的支援など、県という組織にしかできない仕事をしていただくのが当面のビジョンです。

この国をどうするのか、根本的には憲法の改正だと思います。大阪の橋下市長も憲法の改正をうたっています。憲法は、重いものですが、私たちが日本人として、この国で、どういう生き方をするか、それを世界に示す一つの条文だと思います。平和を愛する日本人として生きていくため、日本人の幸せの在り方、外交方針などを今この国に生きている私たちが決める時期が来たのです。

TPPの問題もそうです。国の問題ではなく、私たちの生活の問題です。アメリカの基準で物事が進むのです。良いこともあるかもしれませんが、日本人にとって幸せかどうかということです。農業の問題や医療の問題も、すべて私たちの生き方が問われているという重要な問題です。輸出は増えますが、負の部分も増えます。じっくり考える必要があると思います。

明治以来、変わらない中央集権的な国の統治機構を作り直す。そのために、「壊す」。壊さないと新しいものが生まれません。どう壊すかという壊し方が大切であります。大阪と愛知は違います。大村知事には、愛知のやり方で、大阪の橋下さんと一緒に駄目だと助言しています。良いことには、必ず負の部分があります。その時に、被害を受ける人、切ない思いをする人が絶対に出てくる。だから、その部分に光を当てないといけない。自民党も駄目、民主党も駄目、橋下さんも駄目となったら、この国は絶望感しか残りません。だから、失敗は許されないから、一緒にコケては駄目だから、橋下さんの半歩や一歩後ろを行ってほしいと知事には話をしています。

現在、愛知の会は5名しかいません。東三河では私一人です。第一会派が自民党、第二会派が民主党、第三が我々の愛知の会です。私たちは3番目ですが、知事与党ということで、執行権を持った知事がいる。皆さんから要望事を実際の執行権者と一緒に実行できる形にする力を持っている唯一の会派です。この力を、世の中が良く行く方向へ、今までの政治の取引でなく、見える形で皆さんに我々の執行権を良い報告に向けていきたいと思っています。

今の国会議員で日本を変えられなかったのだから、今いる国会議員が去っていくような案を出さないと日本は変わりません。人が変わらないと変わりません。できることをやっても「変化」に過ぎません。できないことをやるのが「改革」です。我々は10年先も愛知の会をやっているつもりはありません。今期で終えるつもりでやっています。豊川市やこの地域を支えている皆さんには、政治に対して絶望の想いもあるかもしれませんが、政治は自分たちで変えられるのです。自分に返ってくるということを念頭に置いて頂いて、政治家は自分たちの想いを代弁する仕事をする人だと思って頂きたいです。役割を果たすの

が政治家です。我々は、2大政党を敵に回してしまっただけですから前へ進むしかありません。

昨年、大震災があって、皆さん「絆」という言葉を言います。絆を本当に大切にしないといけないと日本人は気づきました。本当に政治が、日本国民に対して心から手を差し伸べているのかと考えるとさびしい限りです。そんな中、天皇皇后両陛下は、8週間に渡って被災地をお見舞いに行かれました。警備の人間人は最低限に、そして地域の役人が決めた人と話をするのではなく、訪問先にいる人たちに分け隔てなく話を聞く。一国の元首がそこまではしません。それが両陛下のお人柄ですね。そんな中で、陛下に愚痴をこぼす人は一人もいなかったことも、また日本人の素晴らしいところです。「もったいない」とみんながお礼を言いました。こんなことは教育されていませんが、それが日本人だと思います。宗教とか超えた、我々の想いが皇室に繋がっていくということです。そういう重しがあるので、この国のバランスが保たれていると思います。日本の歴史の重みは、今ここに発揮されていると思います。だから、こんな大災害が起こっても平穩でいることができるのだと思います。

私が考えている色んな事を話させて頂きました。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

大沢茂樹会員 フェニックスが全国準優勝
伴 辰三会員 春の行楽ありがとう
井指光基会員 誕生日を祝って頂き
細井 勉会員 結婚記念日を祝って頂き
池田 弘会員 同好会で優勝しました
林 博宣会員 春の行楽のお礼

クラブ目標：会員増強純増 2名
クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人
現在の状況
会員増強・・・・・・・・・・純増3名
R財団寄付額・・・・・・・・・・\$88/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。